

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問4 あなたのお住まいの住宅についておたずねします。(はひとつ)				
3	介護保険課	1~5 (略) 6 高齢者専用賃貸住宅や高齢者向け優良賃貸住宅 7~8 (略)	1~5 (略) 6 サービス付き高齢者向け住宅 7~8 (略)	制度変更に伴う名称変更
問4-1 お住まいの住宅の建築時期についておたずねします。(はひとつ)				
3	都市整備局		1 昭和56年5月31日以前に完成 2 昭和56年6月以降に完成 3 わからない	昭和56年に建築基準法が改正されており、災害弱者である高齢者の持家に関して、状況を把握する。
問5-1 あなたが現在、利用されている介護保険サービスについておたずねします。(はいいくつでも)				
4	介護保険課	1~8 (略) 9 その他() 10 利用していない	1~8 (略) 9 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(24時間サービス) 10 その他() 11 利用していない	新制度の追加
問7-1 ほとんど外出しない理由は何ですか。(はいいくつでも)				
5	高齢福祉課 (介護予防)	1 心や身体の都合で外出が困難である 2 付き添いあるいは介助してくれる人がいない 3 買物や散歩などで外出したときに段差等がある 4 バスや電車などの利用にあたり、段差等があり利用しにくい 5 外出するときに必要な福祉用具がない 6 出かけた場所がない 7 その他() 8 特にない	1 身体上の理由で外出が困難だから 2 付き添いあるいは介助者がいないため外出に苦労するから 3 バス、地下鉄、電車などへの乗車が困難だから 4 出かけた場所がない 5 人と会うのがおっくうに感じられるから 6 その他() 7 特にない	前回調査では、1「心や身体の都合で外出が困難である」が70%を占めている。 「心」と「身体」どちらの都合によって、外出が困難であるかが重要となることから選択肢を明確化。 また、前回調査の3、4の選択肢では「段差等があることを要因」とした選択肢としているが、幅広く回答しやすい選択肢に変更。
問8 健康に気をつけている事についておたずねします。(はいいくつでも)				
6	健康局健康づくり課	あなたは、健康に気を使っていますか。(はいいくつでも) 1~5 (略) 6 その他() 7 特に気を使っていない	健康に気をつけている事についておたずねします。(はいいくつでも) 1~5 (略) 6 たばこは吸わない 7 お酒は飲まないか、飲みすぎないようにしている 8 その他() 9 特に気をつけている事はない	たばこやお酒については、健康状態について大きな影響があるため新たに選択肢を追加

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問8-1 どこで運動や散歩を行っていますか。またその頻度はどれくらいですか。(は(1)～(7)の実施状況欄にそれぞれひとつずつ)				
6	高齢福祉課 (介護予防)	(1)～(2) (略) (3)老人福祉センターや老人憩の家など (4)公園やグラウンド (5)スポーツセンターやプール、運動教室 (6)その他()	(1)～(2) (略) (3)公園やグラウンド (4)老人憩の家など地域の会館 (5)市立のスポーツセンターやプール (6)民間施設のスポーツジムやスポーツ教室 など (7)その他()	民間施設の活用状況等を把握するため選択肢の追加。
問9 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。(はひとつ)				
6	健康局健康 づくり課		あなたは現在、健康上の問題日常生活に何か影響がありますか。(はひとつ) 1 ある 2 ない	国が健康寿命を算出する際に利用している質問(国民生活基礎調査)である。国の調査では大阪市の標本数が少なく、利用できないため、調査を行い、参考値とする。
問10 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っていますか。(はひとつ)				
6	健康局健康 づくり課		！ひとつこと！骨、関節、筋肉などの運動器の機能が衰えるために介護が必要となる状態もしくは恐れのある状態をロコモティブシンドロームといいます。 1 言葉も意味も知っていた 2 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった 3 言葉を聞いたことがない	国の健康増進計画(第2次)における目標項目の一つ「ロコモの認知度の向上」であるが、大阪市としてのデータがとれないため、調査を行う。
問11 メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健診(特定健診、後期高齢者医療健康診査)についておたずねします。(はひとつ)				
7	高齢福祉課 (介護予防)		1 受診している(したことがある) 2 今後、受診したい 3 勤務先などで健診があるので、受診の必要がない 4 わからない	健診を受診し、自分の健康状態を把握し介護予防に取り組んでいくことが望ましいことから、健診の認知度を把握し、今後の施策につなげる。
問14 かねで食べる時の状態についておたずねします。(はひとつ)				
7	健康局健康 づくり課	あなたは食事をする際に何らかの支障がありますか。 1 支障がある 2 支障がない	かねで食べる時の状態についておたずねします。(はひとつ) 1 何でもかねで食べることができる 2 一部かめない食べ物がある 3 かめない食べ物が多い 4 かねで食べることはできない	国の健康増進計画(第2次)における目標項目の一つ「咀嚼機能の維持向上」であるが、大阪市としてのデータがとれないため、評価できない項目となっている。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問18 あなたにとっての楽しみや生きがいとはどのようなことですか。(はいくつでも)				
8	高齢福祉課 (企画)	1～2 (略) 3 旅行やドライブ 4～9 (略) 10 仕事・働くこと 11 (略) 12 テレビをみたり、ラジオを聞いたりすること 13 その他() 14 特にない	1～2 (略) 3 園芸や音楽鑑賞などの趣味活動 4 生涯学習や教養などを身につけること 5 運動スポーツ 6 老人クラブ活動 7 町会、自治会、女性会等の地域団体の活動 8 社会奉仕、ボランティア活動 9 パソコンやインターネット、携帯電話 10 その他() 11 特にない	選択肢を絞ることにより、趣味活動や地域活動、ボランティア等のうち、高齢者が楽しみや生きがいと感ずることを把握する。 また、「10仕事・働くこと」については、問17と重複するため削除
問19 次の施設や事業についておたずねします。(はい状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)				
9	いきがい課 教育委員会	(1)～(3)(略) (4) 大阪市社会福祉研修・情報センター (5) いきいきエイジングセンター (6) 高齢者大学「いちよう大学」 (7)～(9)(略)	(1)～(3)(略) (4) 生涯学習センターの高齢者向け講座 (6)～(10)(略) 別紙「憩の家利用者の方へ」についてもご記入願います。	・事業廃止、見直し、事業名称変更予定のため ・市政改革プランに基づき再構築となった事業について、別途調査を実施予定。
問20 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)の整備についておたずねします。特別養護老人ホームの整備が進めば、介護保険料が高くなりますが、今後の整備についてどう思われますか(はいひとつ)				
10	高齢施設課		1 介護保険料が高くなっても、今後も特別養護老人ホームの増設が必要と思う 2 介護保険料が高くなるのは困るが、ある程度の増設は必要と思う 3 特別養護老人ホームをこれ以上増やす必要はないと思う 4 わからない	特別養護老人ホームにかかるサービス供給量と利用者負担について、高齢者のニーズを把握し、今後の施設整備の参考にするため。
問21 あなたは、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に入所する場合、どちらの施設に入りたいと思われますか。(はいひとつ)				
10	高齢施設課		1 従来型特別養護老人ホーム 4人部屋を基本として、おおむね30人から50人程度の集団生活を営みながら、食事、入浴、排泄等の日常生活において必要な介護を提供します。 2 ユニット型特別養護老人ホーム すべて個室で、おおむね10人程度の少人数を生活単位として、居間・食堂などの共有スペースを設け、個々の生活リズムに配慮した介護を提供します。 3 どちらでもよい	特別養護老人ホームの次期計画における整備方針(従来型・ユニット型など)を決定するにあたり高齢者のニーズを把握するため。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問24 次の在宅福祉サービスについておたずねします。(は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)				
11	高齢福祉課 (在宅)	あなたは、次の福祉サービスを利用していますか、また利用している場合は満足していますか。(はそれぞれひとつずつ) 利用状況 1～3 (略) 満足度(左で「1利用している」に をつけた方のみ回答してください) 1 満足 2 どちらかといえば満足 3 どちらかといえば不満 4 不満	次の在宅福祉サービスについておたずねします。(は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ) 利用状況 1～3 (略) 利用(参加)意向 1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい 「食事の会食サービスの利用者の方へ」についてもご記入願います。	・満足度ではなく、利用の意向を確認することにより、今後の制度のあり方を検討する。 ・市政改革プランに基づき再構築となった事業について、別途調査を実施予定。
11	高齢福祉課 (在宅)	(1)食事の配食サービス (2)食事の会食サービス (3)寝具洗濯乾燥消毒サービス (4)～(5) (略) (6)介護用品支給事業 (7)訪問理美容サービス	(1)食事の配食サービス(大阪市生活支援型食事サービス) (2)食事の会食サービス(ふれあい型食事サービス) (3)日常生活用具給付事業 (4)～(5) (略)	食事サービスの区別をわかりやすくするため、()内を追加、また、利用者が限定されるなどの事業については、削除を行う。
問25 次の保健サービスについておたずねします。(は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)				
12	高齢福祉課 (介護予防)	(1) (略) (2)健康(医療)相談 (3)～(4) (略) (5)老人精神保健福祉相談 (6)生活機能評価 (7)介護予防事業	(1) (略) (2)健康相談 (3)～(4) (略) (5)精神保健福祉相談 (6)介護予防事業	制度変更による文言修正等。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問26 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ)を利用したことがありますか。(はひとつ)				
13	高齢福祉課 (在宅)	<p>地域包括支援センター・総合相談窓口(ランチ)についておたずねします。</p> <p>あなたは、これまでにお困りごとで地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ)に相談したことがありますか。</p> <p>【地域包括支援センター】(はひとつ)</p> <p>1 自分自身や家族のことで相談したことがある</p> <p>2 友人あるいは近隣の方のことで相談したことがある</p> <p>3 ケアプランを作成してもらっている</p> <p>4 これまで一度も相談したことはないが、どこにあって何をしているところかは知っている</p> <p>5 これまで一度も相談したことはなく、何をしているところかも知らないが、どこにあるかは知っている</p> <p>6 これまで一度も相談したことはなく、どこにあるのかも知らないが、何をしているところかは知っている</p> <p>7 これまで一度も相談したことはなく、どこにあるのかも、何をしているところかも知(し)らない</p> <p>【総合相談窓口(ランチ)】(はひとつ)</p> <p>1 自分自身や家族のことで相談したことがある</p> <p>2 友人あるいは近隣の方のことで相談したことがある</p> <p>3 これまで一度も相談したことはないが、どこにあって何をしているところかは知っている</p> <p>4 これまで一度も相談したことはなく、何をしているところかも知らないが、どこにあるかは知っている</p> <p>5 これまで一度も相談したことはなく、どこにあるのかも知らないが、何をしているところかは知っている</p> <p>6 これまで一度も相談したことはなく、どこにあるのかも、何をしているところかも知らない</p>	<p>地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ)を利用したことがありますか。(はひとつ)</p> <p>1 利用したことがある(知っている)</p> <p>2 知っているが、利用したことはない</p> <p>3 聞いたことはあるが、何をするとところかわからない</p> <p>4 聞いたことがない(知らない)</p>	<p>地域包括支援センターとランチの総合相談について、一体的な調査項目とする。</p> <p>1つの質問の中に利用目的と認知度という2つの選択肢がありわかりにくいいため、2つの設問に分割する。</p>

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問26-1 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ)をどのようにして知りましたか。主なものをひとつ選んでください。(はひとつ)				
13	高齢福祉課 (在宅)		1 区役所など行政機関から聞いた 2 介護保険事業者(ケアマネ・ヘルパーなど)や施設から聞いた 3 病院、主治医など医療機関から聞いた 4 民生委員・町会等の地域役員から聞いた 5 家族・友人、知人から聞いた 6 パンフレットや資料から知った 7 その他	地域包括支援センター及びランチの周知方法の強化につながる。
問26-2 何の目的で、利用(相談)しましたか。主なものをひとつ選んでお答えください。(はひとつ)				
13	高齢福祉課 (在宅)		1 介護や日常生活の困りごと(介護保険制度について、家族の介護など) 2 物忘れ、認知症について 3 高齢者虐待について 4 介護予防ケアプランについて(要支援1、要支援2の認定になった) 5 二次予防事業対象者(はつらつシニア)について 6 保健、医療サービスや制度について 7 相談ではなく、一緒に活動したことがある(研修、高齢者のかたの見守り活動など) 8 その他	利用目的を明らかにすることにより、地域包括支援センター及びランチの機能強化につなげる。
問26-3 利用した満足度についておたずねします。(はひとつ)				
13	高齢福祉課 (在宅)		利用した満足度についておたずねします。(はひとつ) 1 満足している 2 どちらかといえば満足 3 どちらかといえば不満 4 不満	問 と問 のクロス集計等を実施することにより、業務の検証に活用する。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問28 あなたやあなたの家族・知人に、もの忘れが多くなったなど不安に思うとき、まず、どこに相談しますか。(はいくつでも)				
14	高齢福祉課 (企画)	あなた(あて名ご本人)やあなたのご家族で、医療機関で認知症と診断を受けられた方認知症ではないかと医療機関にかかっている方を含む)はいらっしゃいますか。(はいひとつ) 1 いる(本人・家族) 2 いない 3 わからない	あなたやあなたの家族・知人に、もの忘れが多くなったなど不安に思うとき、まず、どこに相談しますか。(はいくつでも) 1 家族、親族、友人または知人 2 民生委員・町会等の地域役員または近所の人 3 病院やかかりつけの医師(精神科以外) 4 精神科医療機関や認知症疾患医療センター 5 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ) 6 区役所・保健福祉センター 7 認知症の人と家族の会や認知症サポーター 8 相談する人がいない、または、相談場所がわからない	物忘れ等の際の相談先を調査することにより、認知症施策の強化につなげる。
問29 あなたは、認知症という病気をご存知でしたか。(はいひとつ)				
15	高齢福祉課 (企画)	1 原因となる病気や症状などについてだいたいわかる 2 言葉は聞いたことがあるが、原因となる病気や症状などについてはわからない 3 わからない	！ひとこと！認知症は誰しもうる可能性のある病気です。早期発見、早期対応により進行を遅らせる、または、治療で治せる場合があるので、早期に診断を受けることが大切です。 1 原因となる病気や症状などについてだいたいわかる 2 言葉は聞いたことがあるが、原因となる病気や症状などについてはわからない 3 わからない	前回と同様(内容の変更はなし) ひとことを追加し、早期診断の啓発を行う。
問29-1 あなたが認知症について聞いた(学んだ)ことがあることについておたずねします。(はいくつでも)				
15	高齢福祉課 (企画)	認知症に関して不安に思ったり悩んだりすることはありますか。また、どのようなことで不安に思ったり悩んだりしましたか。(はいくつでも) 1 不安に思ったり悩んだりしたことはない 2 以前に比べ、もの忘れが多くなったこと 3 家事が思うようにできなくなったり、外出時に迷うなど、普段の生活に関すること 4 うつ症状や意欲の低下、妄想など、精神症状に関すること 5 徘徊や暴言、暴力、異食食べ物でないものを口に入れるなど、行動に関すること 6 今後の認知症の病状に関すること 7 仕事に関すること 8 近所などとの人付き合いに関すること 9 認知症の方に対する接し方や介護に関すること 10 家族内の人間関係や、子どもや孫の将来)に関すること 11 医療機関受診に関すること 12 介護保険の制度や手続きの方法、相談先が分からないこと 13 認知症(にんちしょう)の症状(しょうじょう)にあったサービスがないこと 14 その他()	あなたが認知症について聞いた(学んだ)ことがあることについておたずねします。(はいくつでも) 1 認知症は誰しもうる可能性のある病気である 2 早期に対応することで進行を遅らせることができる病気もある 3 認知症とよく似た状態を示す病気があり、早期発見により治療で治せるものもあるので、早期に診断を受けることが大切である。 4 予防のためには日頃から頭や体を働かせることが大切である 5 認知症を理解し、認知症の人や家族を支援する応援者になるための認知症サポーター養成講座がある 6 認知症の人を介護する家族のための交流会がある	前回調査では、認知症を知っている方のうち、約4割が詳しくわからないと回答していたため、認知症の啓発を兼ねて、設問を追加。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問30 最近「孤立死」が大きな問題になっていますが、あなたは、孤立死についてどのように考えますか。(はひとつ)				
16	高齢福祉課 (在宅)		最近「孤立死」が大きな問題になっていますが、あなたは、孤立死についてどのように考えますか。(はひとつ) 1 身近な問題だと思う 2 やや身近な問題だと思う 3 あまり身近な問題だと思わない 4 身近な問題だと思わない 5 わからない	ひとり暮らし高齢者等の多い本市 高齢者の状態をあきらかにする。
問30-1 主な理由は次のどれにあたりますか。(はいくつでも)				
16	高齢福祉課 (在宅)		1 親族との付き合いが少ないから 2 近所との付き合いが少ないから 3 友人との付き合いが少ないから 4 あまり外出しないから 5 病気がちであったり、健康に不安があるから 6 特に理由はない 7 その他()	ひとり暮らし高齢者等の多い本市 高齢者の状態をあきらかにする。
問30-2 孤立死を防ぐための方法として必要(有効)と思うものはどれですか。(はいくつでも)				
16	高齢福祉課 (在宅) 地域福祉課		1 緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 2 健康相談に看護師等が24時間対応してくれるサービス 3 弁当の配食時に安否確認を行うサービス 4 集会所等で会食会を催し地域交流を深めるサービス 5 定期的に電話があり安否確認を行うサービス 6 ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス 7 地域の見守り活動(民生委員・町会・地域活動協議会・地域社会福祉協議会等) 8 介護保険サービス等の利用 9 健康づくりや介護予防サービスの利用 10 友人や知人とのつながり 11 近所の人と声を掛け合うこと 12 新聞や牛乳配達時の安否確認 13 その他()	ひとり暮らし高齢者等の多い本市 高齢者の状態をあきらかにする。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問31 あなたは、災害時や緊急時に一人で避難することができますか。(はひとつ)				
17	高齢福祉課 (企画)		1 避難できる 2 一人で判断できるが、避難はできない 3 一人では判断できないし、避難もできない 4 わからない	災害時や緊急時の状況について、把握する。
問31-1 災害時や緊急時に、手助けを頼める人(同居者を含む)はいますか。(はひとつ)				
17	高齢福祉課 (企画)		1 常時いる 2 時間帯によってはいる 3 いない 4 わからない	問31において、「一人で避難が出来ない方」に対して、支援者の状況を確認する。
問31-2 災害が起きた時の心配事や問題点はありますか。(はいいくつでも)				
17	高齢福祉課 (企画)		1 避難情報がわからない 2 避難所が遠い 3 浸水の恐れなどがある 4 家が高い 5 同居の家族が動けない 6 その他() 7 わからない	災害時の課題整理を行う。
問32 あなたは、困ったときにどちらに相談されますか。(はいいくつでも)				
17	高齢福祉課 (企画) 地域福祉課	1~3 (略) 4 町会・自治会等の役員や地域ネットワーク委員・推進員など 5 民生委員 6 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 7 区役所・保健福祉センター 8 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 9 大阪市社会福祉研修・情報センター 10 病院・かかりつけの医師 11 認知症支え合いコールセンター 12 認知症疾患医療センター(大阪市立大学医学部附属病院、ほくとクリニック病院、大阪市立弘済院附属病院) 13 大阪市立弘済院(総合相談室) 14 介護家族の会 15 その他() 16 特にない	1~3 (略) 4 町会・自治会の役員など 5 地域活動協議会、地域社会福祉協議会等、地域の見守り活動を行っている組織 別紙の「地域で見守り活動を行っている組織への相談者の方へ」についてもご記入をお願いします。 6 区社会福祉協議会 7 民生委員 8 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 9 区役所・保健福祉センター 10 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 11 病院・かかりつけの医師 12 その他() 13 特にない	・問28にて認知症の相談先についての設問があるため、認知症に関する相談先を削除する。 ・市政改革プランに基づき再構築となった事業について、選択肢の名称を変更。 ・市政改革プランに基づき再構築となった事業について、別途調査を実施予定。

高齢者実態調査(本人調査) 前回(平成22年度)調査からの主な変更点

削除
追加・変更

案の頁	課	H22調査時	H25調査案	理由
問33 あなたは、高齢者向けのサービスなどの情報をどこから得ていますか(はいいくつでも)				
18	高齢福祉課 (企画) 地域福祉課	1 「市政だより」や「くらしの便利帳」など市の広報誌 2～4 (略) 5 町会・自治会・地域ネットワーク委員会など 6 民生委員 7 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの 介護保険事業者 8 区役所・保健福祉センター 9 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 10 大阪市社会福祉研修・情報センター 11 老人福祉センター 12 その他() 13 特にない	1 「区政だより」や「くらしの便利帳」などの広報誌 2～4 (略) 5 町会・自治会など 6 地域活動協議会、地域社会福祉協議会等、地域の見守り 活動を行っている組織 別紙の「地域で見守り活動を行っている組織への相談者の 方へ」についてもご記入をお願いします。 7 区社会福祉協議会 8 民生委員 9 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの 介護保険事業者 10 区役所・保健福祉センター 11 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 12 老人福祉センター 13 その他() 14 特にない	・制度改正に伴う変更 ・市政改革プランに基づき再構築 となった事業について、選択肢の 名称を変更。 ・市政改革プランに基づき再構築 となった事業について、別途調査 を実施予定。

その他、所属の変更、レイアウトなどを変更しております。